



一般社団法人 静岡県安全運転管理協会



富士地区協会の活動紹介

「交通死亡事故現場診断」を実施！（令和元年8月中）

富士地区安全運転管理協会は、地区内で発生した交通死亡事故の再発防止を期して、この8月中に管轄警察署の「交通死亡事故現場診断」に参加し、これからの交通事故防止対策等を協議しました。

【富士地区】

8月22日（木）、富士警察署、富士市役所、土木事務所、トラック協会、交通安全協会、自治会等の関係団体とともに、同地区安全運転管理協会から役員及び現場付近の会員事業所など6人が参加、合計22人により

7月31日（水）午後、富士市今井地先の県道交差点で発生した交通死亡事故（道路左側を走行中の自転車と交差点を左折しようとした大型貨物車との衝突事故、自転車の22歳女性が死亡）の事故現場診断を行いました。

この事故現場は右左折帯のある交差点で、現場診断及び協議の結果、

- 大型貨物車の内輪差による捲込み事故で、車道（左折帯）と歩道を整備、歩行者等車両の直近通行を防ぐための交差点改良
- 広報看板の設置など周辺住民に対する交通安全広報の実施

など、ハード、ソフト両面の事故防止対策に関する意見が出されました。



【現場診断】



【再発防止対策を協議】